



◆ 第8回統合協議会を開催しました ◆

11月17日（火）に第8回「手宮地区小学校統合協議会」を開催しました。『学校づくり部会』から提案のあった手宮中央小学校の新しい学校づくりに向けた、基本的な考え方や新しい学校像などが了承されました。



『学校づくり部会』からの報告及び協議

及川部会長（手宮小教頭）から、手宮中央小学校の新しい学校づくりに向けた基本的な考え方や新しい学校像、学力向上サイクル（裏面参照）、家庭学習の手引き、平成28年度の通知表の形式、学習のきまりが部会案として提案され了承されました。今後は4校の保護者会で説明する予定です。

手宮中央小学校の新しい学校像

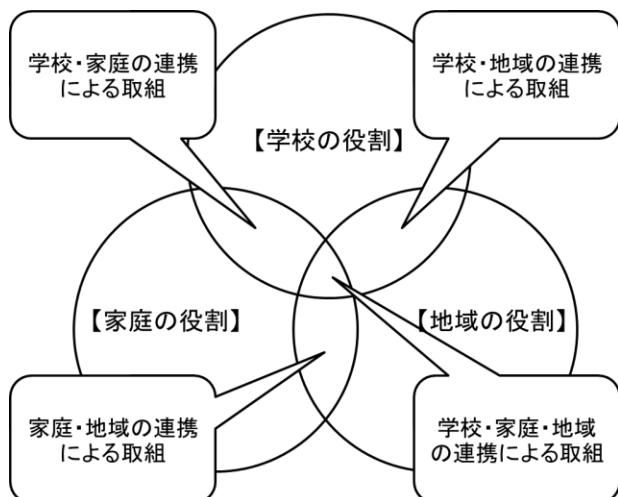
○基本方針

地域で育て 地域で育ち ふるさとを愛し、将来の小樽を担う子供の育成

○新しい学校づくりのテーマ =地域に根ざした学校にするために=

- ①「手宮中央小学校ができてよかった！！」をめざし、「自分大好き 友だち大好き 学校大好き 地域大好き」な子どもを育てる学校作り ⇒ ふるさと教育の充実
- ②地域の方々から「地域あつての手宮中央小だね。」から「手宮中央小あつての地域だね。」と言われるような学校作り ⇒ 地域と共に学校作りができる組織
- ③一人一人の子どもをみんなで育てる学校作り ⇒ 学校支援ボランティア
- ④地域・ふるさとに根ざし、世界とのコミュニケーションを図ることのできる学校作り ⇒ 英語教育の充実

○学校・家庭・地域の連携による取組



役 割	取 り 組 み の 例
学校の役割	・学習指導要領の理念である「生きる力」を育むこと。（「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成すること） ・家庭や地域との連携を深めること。
家庭の役割	・生活のために必要な習慣を身に付けさせること。 ・自立心を育成すること。 ・心身の調和のとれた発達を図ること。
地域の役割	・多様な価値観で優しく包み込む空間であること。 ・地域社会に住む大人が子供にかかわり、子どもと一緒に汗を流す共同作業の場をつくること。
学校、家庭の連携	家庭学習の習慣化、基本的生活習慣の育成、図書館ボランティア、保護者評価の実施、学校環境整備、読み聞かせなど
学校、地域の連携	あいさつ運動、地域清掃ボランティア活動、地域行事への参加、学習支援ボランティア、地域の施設等の教育資源の活用、ゲストティーチャー、職場体験学習、スキーや水泳指導など
家庭、地域の連携	町内会行事、地域のお祭りへの参加、町内美化活動など
学校、家庭、地域の連携	登下校の見守り活動、安全マップづくり、学校関係者評価の実施、学校からの情報発信など

手宮中央小学校 学力向上サイクル

定着の場

家庭学習の充実

- 学年×10分+10分の家庭学習
- 学校として統一した宿題
[毎日] 音読・漢字・四則計算
- [週末] 活用型の問題
- 家庭学習の手引きの活用
- 家庭のルール

学びを支える場

連結
校内・校外の情報のインプット・アウトプット

児童

保護者

地域

わかる授業

- 「めあて」「見通し」「まとめ（振り返り）」を位置づけた授業
- ICT・デジタル教材の効果的な活用
- 算数科における習熟度別学習の実施と教室環境の利用
- 学習規律の明確化
- 外部講師の招聘・体験的な学習の質的な向上
- チャレンジテスト・確認テスト・CRTなどの活用
- 個別の支援計画に基づく個に応じた支援（個別の支援計画・指導計画）

開かれた学校

- 双方向の地域連携
・朝と放課後の読み聞かせ
・土曜日の体作りと学びの場
・長期休業中の学習（商大・桜陽高校生）
・スキー学習・PTA活動
- 積極的な情報発信
- コミュニティスクールに向けて

学びの場

朝・放課後の学習

- 朝の10分間スキルタイム
・漢字・計算・縄跳び・読書
- スマイルルーム（仮称）
・困ったをクリアするための教育相談
- ・1日の学習内容をクリアするために
- ・学び直して基礎基本をクリアするために

学びを補う場

機関士・乗務員

管理職の強いリーダーシップ・組織運営と教職員の高い実践的指導力

動力

新しい学校をつくるための強い使命感

線路

手宮中央小の将来を見据えた線路

手宮中央小から

問合せ先

第9回統合協議会の日程は、決まり次第、市ホームページでお知らせします。

事務局 小樽市教育委員会 適正配置担当

電話 0134-32-4111（内線537） FAX 0134-33-6608

メール gako-teki@city.otaru.lg.jp

小樽市 学校再編

検索